

大田区立郷土博物館 年報

令和5年度

(2023年度)

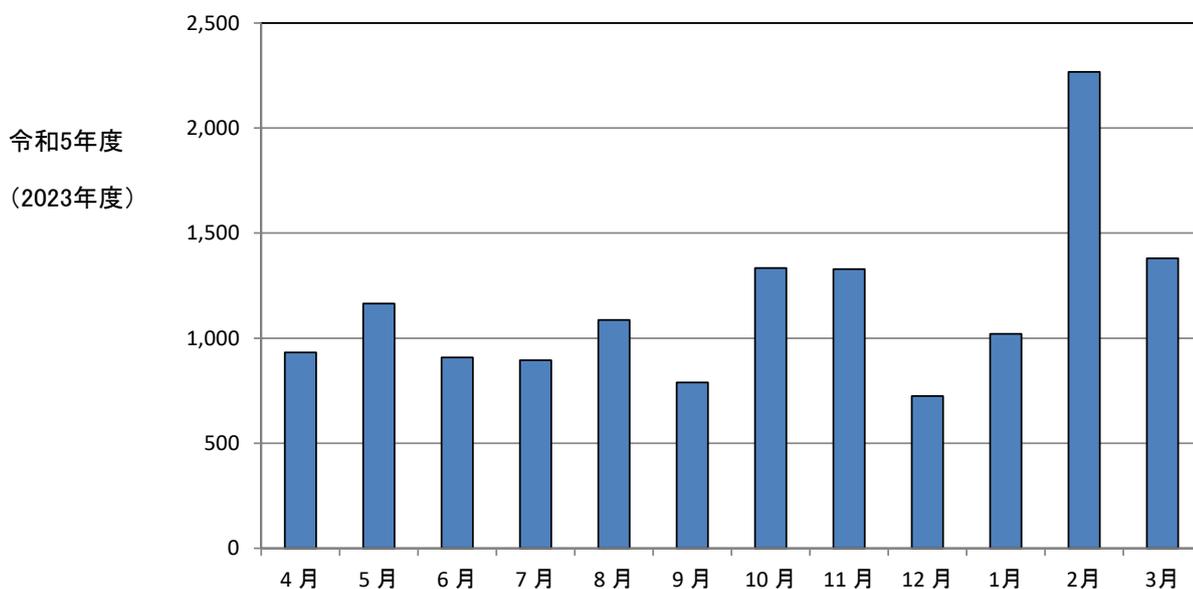
令和5年4月～令和6年3月

目次

月別入館者数	1
年間入館者数	2
特別展「海苔商たちの底力」開催要旨・入館者数	3
企画展「花香る おおたの梅林～愛でられる花々～」開催要旨・入館者数	5
特集展示	7
縄文土器づくり、赤ちゃんと一緒に博物館へ、博物館講座、空の日イベントin郷土博物館、体験学習会	8
夏休み体験学習会(子ども対象事業)	9
学校団体利用人数、中学生職場体験	10
館外事業(講座・解説など)	11
刊行物(グッズを含む)	13
収蔵資料総数、奥付	14

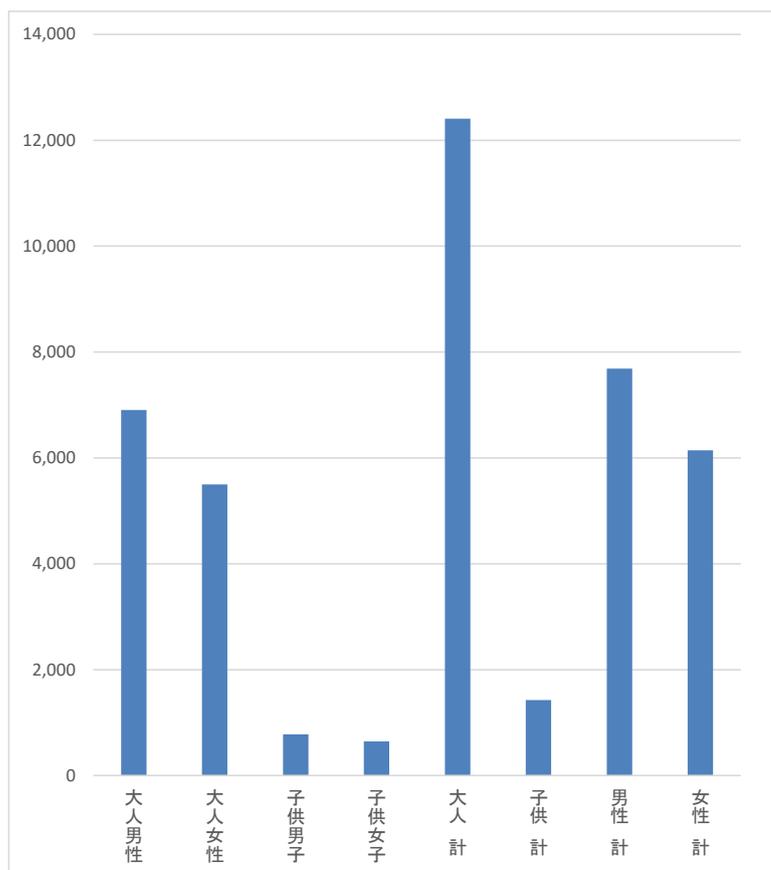
《月別入館者数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数	24	26	22	23	26	27	26	26	22	22	24	21	289
大人 男	472	611	476	478	460	423	749	720	404	469	980	664	6,906
大人 女	291	469	351	332	415	313	530	516	283	352	1,011	637	5,500
大人合計	763	1,080	827	810	875	736	1,279	1,236	687	821	1,991	1,301	12,406
子供 男	95	56	53	37	108	30	39	55	22	107	144	34	780
子供 女	74	29	28	48	104	23	16	38	15	93	132	45	645
子供合計	169	85	81	85	212	53	55	93	37	200	276	79	1,425
男性合計	567	667	529	515	568	453	788	775	426	576	1,124	698	7,686
女性合計	365	498	379	380	519	336	546	554	298	445	1,143	682	6,145
総合計 (団体含む)	932	1,165	908	895	1,087	789	1,334	1,329	724	1,021	2,267	1,380	13,831
一日平均	39	45	41	39	42	29	51	51	33	46	94	66	48
一般 団体数	1	16	7	7	14	13	7	4	2	4	14	12	101
人数	15	166	47	77	152	109	81	65	21	42	192	151	1,118
学校 団体数	1	1	0	2	0	0	1	0	1	3	3	0	12
人数	134	10	0	32	0	0	15	0	8	320	182	0	701
団体合計	2	17	7	9	14	13	8	4	3	7	17	12	113
団体人数	149	176	47	109	152	109	96	65	29	362	374	151	1,819



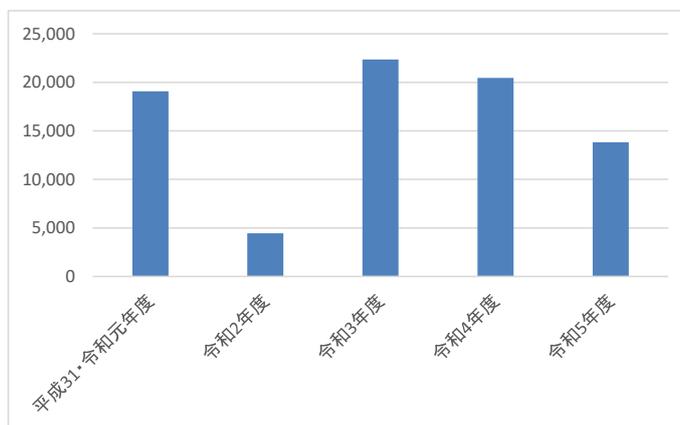
《年間入館者数》

入館者総数	13,831 人	
開館日数	289 日	
一日平均	48 人	
大人男性	6,906 人	
大人女性	5,500 人	
大人 計	12,406 人	
子供男子	780 人	
子供女子	645 人	
子供 計	1,425 人	
男性合計	7,686 人	
女性合計	6,145 人	
一般団体	101	1,118 人
学校団体	12	701 人
団体 計	113	1,819 人
一般利用者	84%	12,012 人
団体利用者	16%	1,819 人



過去5年間の入館者数

年 度	開館日数	入館者総数	一日平均
平成31・令和元年度	279日	19,045 人	68人
令和2年度	99日	4,461 人	45人
令和3年度	253日	22,357 人	88人
令和4年度	287日	20,452 人	71人
(2023年度)	289日	13,831 人	48人



特別展

「海苔商たちの底力」 開催要旨・入館者数

会期:令和5(2023)年10月3日(火)～12月3日(日) 担当学芸員:乾

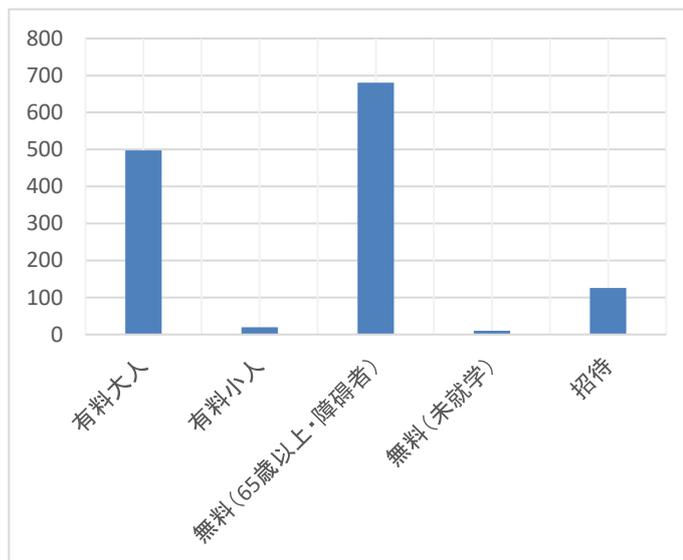
【趣旨】

大田区の伝統的な産物の一つに海苔がある。海苔づくりは江戸時代中期頃に大森から品川にかけての沿岸部で始められたといい、明治時代以降は生産量・品質・技術の高さを全国に認められて、「本場乾海苔」と称された。しかし、東京港の改修などの問題から、大田区などの東京都臨海部の漁業組合は、昭和37(1962)年12月に東京湾内での海苔漁場を全面的に放棄し、歴史ある海苔づくりに幕を下ろしたのである。海苔の生産が終わって、60年が経つが、今なお海苔の伝統を受け継ぐ人々がいる。それが海苔の商いに関わる方々である。今回は海苔の商いに携わる人々を総じて「海苔商(のりしょう)」と呼ぶことにする。特別展では、主に大森・東京の海苔商を中心に彼らの歩みを振り返る。

【展示資料】

大田区所蔵の資料は、重要有形民俗文化財「大森及び周辺地域の海苔生産用具、株式会社林屋・山本護家(旧海苔問屋)の関連資料、長門屋(旧仲買商)の関連資料、その他典籍や絵画など。また、個人・団体・機関からは資料の借用などで協力を仰いだ。出展資料数は約200点。

入館者総数	1,335	人
開館日数	55	日
一日平均	24	人
有料大人	498	人
有料小人	20	人
無料 (65歳以上・障害者)	681	人
無料(未就学)	10	人
招待	126	人



観覧料 有料 大人(区内)300円(区外)500円
小人(区内)100円(区外)200円

※65歳以上の方、未就学児及び障がい者手帳をお持ちの方とその付添の方1名は無料。

特別展

関連展示

- (1) 「海苔づくりの歴史と技術」1階特集展示コーナー (担当 小室)
会期 10月3日(火)～1月14日(日)
- (2) 「受け継がれる海苔養殖—仕事場の風景—」3階馬込文士村コーナー (担当 眞坂・築地)
会期 10月3日(火)～12月3日(日)

関連催事

《講演会》

月 日	曜日	時 間	テーマ(内容)	担当	参加人数
10月14日	土	14時～ 16時	第1回「江戸と大森—海苔の流通と生産地帯」 講師 吉田伸之氏(東京大学名誉教授)	乾 小室	男性 25人 女性 10人 合計 35人
10月28日	土	14時～ 16時	第2回「川崎、大森、そして諏訪。～海苔をめぐる旅」 講師 小倉美恵子氏((株)ささらプロダクション代表)		男性 30人 女性 10人 合計 40人
11月11日	土	14時～ 16時	第3回「生き残った大森の海苔問屋たち」 講師 古市尚久氏(大森本場乾海苔問屋協同組合 理事長)		男性 14人 女性 13人 合計 27人

《まち歩き》

月 日	曜日	時 間	テーマ(内容)	担当	参加人数
10月25日	水	13時～ 16時	地域探訪「海苔の商いから見る大森」 大森地域の海苔に関する史跡を巡り、海苔問屋を 訪ねた。	乾 小室	男性 7人 女性 12人 合計 19人

《展示解説》

月 日	曜日	時 間	テーマ(内容)	担当	参加人数
11月18日	土	14時～ 15時30分	担当学芸員がスライドを用いて、特別展の内容や見 どころを解説した。	乾	男性 11人 女性 7人 合計 18人
12月2日	土	14時～ 15時30分			男性 15人 女性 12人 合計 27人

《体験講座 大森麦わら細工》※「体験学習会」のページに記載

企画展

「花香る おおたの梅林～愛でられる花々～」 開催要旨・入館者数

会期:令和6(2024)年1月23日(火)～3月17日(日) 担当学芸員:築地

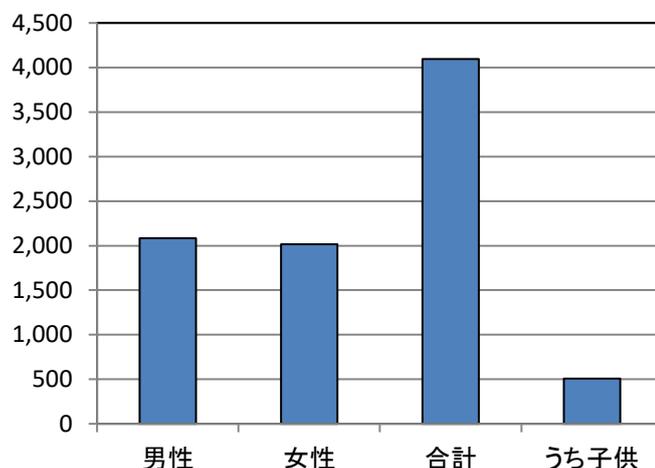
【内容】

上品で優雅な姿と高貴な香りを持つ梅。大田区には、「聖蹟蒲田梅屋敷公園」や「池上梅園」など花の盛りの時期に来園者で賑わいを見せる観梅のスポットがある。時を遡れば、今は姿を消してしまったものの、この他にも梅の名所が大田区内には存在した。このように大田区は梅との深い歴史的由緒を有していることもあって、昭和51(1976)年に梅が「区の花」に制定される。まだ寒さ厳しい時期に先陣を切って咲き始める早春の花である梅は「百花のさきがけ」ともいわれるように、春の訪れを感じさせる花として古今多くの人々を魅了してきた。本展では、大田区内に点在する、または点在した梅の名所を紹介する。

【展示資料】

大田区所蔵の資料として、梅園関係では浮世絵・絵葉書・写真・沿線案内パンフレット・旅行案内書・公文書簿冊など。また、伊東深水画室・自宅(現池上梅園)関係として深水作品および川尻善治による設計図・手記など。この他、個人・機関からの資料の借用もあわせて出展資料数は約200点。

入館者総数	4,097	人
開館日数	49	日
一日平均	84	人
男性	2,082	人
女性	2,015	人
うち子供	507	人



観覧料無料

企画展

関連展示

- (1) 「馬込文士村から池上梅園へ」 3階特集展示コーナー (担当 真坂)
会期 1月23日(火)～3月17日(日)
- (2) 「新版画で春を寿ぐ」 3階馬込文士村コーナー (担当 真坂)
会期 1月23日(火)～3月17日(日)

関連催事

《学芸員講座》

月 日	曜 日	時 間	テーマ(内容)	担当	参加人数
1月27日	土	14時～ 16時	第1回「蒲田の梅林－梅屋敷の栄枯盛衰－」	築地	男性 19人 女性 17人 合計 36人
3月2日	土	14時～ 16時	第2回「池上の梅林－ヒト・モノ・コト－」		男性 16人 女性 22人 合計 38人

《赤ちゃんと一緒に博物館へ》

月 日	曜 日	時 間	テーマ(内容)	担当	参加人数
2月15日	木	10時～ 11時30分	前半はねんじっこの会の方に手遊び・絵本の読み聞かせをしていただき、後半は企画展の展示解説を行った。	築地 真坂 斎藤	男性 6人 女性 7人 合計 13人

《まち歩き》

月 日	曜 日	時 間	テーマ(内容)	担当	参加人数
2月22日	木	13時～ 16時	第1回「馬込文士村から池上梅園へ」	築地 真坂	男性 7人 女性 7人 合計 14人
2月29日	木	10時～ 12時	第2回「池上梅園を訪ねて(午前の部)」		男性 0人 女性 9人 合計 9人
2月29日	木	13時～ 15時	第3回「池上梅園を訪ねて(午後の部)」		男性 4人 女性 5人 合計 9人
3月7日	木	13時～ 16時	第4回「大森～蒲田の名産・名所めぐり」		男性 11人 女性 12人 合計 23人

※まち歩きの実施に際しては馬込文士村ガイドの会、大田・品川まちめぐりガイドの会の協力を得た。

《特集展示》

<1階ロビー>

展示期間	展示テーマ	担当
4月20日(木)～7月23日(日)	再発見、上沼部の横穴式石室～考古学者、森本六爾の野帳から～	林
7月25日(火)～9月24日(日)	洗足池周辺の遺跡たち	林 斎藤
10月3日(火)～1月14日(日)	海苔づくりの歴史と技術	小室
1月23日(火)～5月12日(日)	森本六爾、おおたの横穴墓を掘る～考古学者、森本六爾の野帳から2～	林

<3階ロビー>

展示期間	展示テーマ	担当
3月11日(土)～4月30日(日)	馬込の風景と暮らし—矢島甲子太郎が遺した記録から—	真坂 築地
5月2日(火)～7月9日(日)	絵葉書でよみがえる“あの頃”の大田区	真坂 築地
7月11日(火)～9月24日(日)	おおたの昆虫～採集家 木村欣二の標本箱～	小室
10月3日(火)～1月14日(日)	文化財写真パネル展	文化財
1月23日(火)～3月17日(日)	馬込文士村から池上梅園へ	真坂
3月26日(火)～5月19日(日)	左内橋開通150年 六郷で多摩川を渡る	築地

<3階馬込文士村コーナー>

展示期間	展示テーマ	担当
10月3日(火)～12月3日(日)	受け継がれる海苔養殖—仕事場の風景—	真坂 築地
10月24日(火)～12月3日(日)	大田区と勝海舟	真坂 築地
12月12日(火)～1月14日(日)	大田区に居住した新版画の絵師たち	真坂
1月23日(火)～3月17日(日)	新版画で春を寿ぐ	真坂

《繩文土器づくり》

月 日	曜日	時 間	内 容	講 師(担当)	参加人数
5月14日	日	13時～15時	第1回 粘土こね	(林)	男性 2人 女性 5人 計 7人
5月21日	日	10時～16時	第2回 成形・整形	小林幸治氏(郷土博物館友の会会長) (林)	男性 4人 女性 12人 計 16人
6月4日	日	10時～16時	第3回 焼成	小林幸治氏(郷土博物館友の会会長) (林)	男性 4人 女性 11人 計 15人

《赤ちゃんと一緒に博物館へ》

月 日	曜日	時 間	内 容	講師(担当)	参加人数
6月1日	木	10時～12時	前半はねんじっこの会の方に手遊び・絵本の読み聞かせをしていただき、後半は常設展(考古分野)の展示解説を行った。	ねんじっこの会 (斎藤・真坂)	男性 6人 女性 10人 計 16人

《博物館講座》

◎大森貝塚と考古学者モース

月 日	曜日	時 間	内 容	講 師(担当)	参加人数
6月24日	土	13時30分～16時30分	大森貝塚と、考古学者エドワード・S. モースの業績についてご講演いただいた。	佐々木憲一氏 (明治大学教授) (斎藤・林)	男性 12人 女性 16人 計 28人

《空の日イベントin郷土博物館》

月 日	曜日	時 間	内 容	協力(担当)	参加人数
9月23日	土・祝	10時～16時	「飛ばそう！電動ヒコーク」と題して、模型飛行機を飛ばす体験会を行い、羽田空港の歴史を写真やエアラインバッグなどで振り返った。	NPO羽田航空宇宙科学館推進会議 (築地・真坂)	— — 計 45人

《体験学習会》

◎大森麦わら編み細工

月 日	曜日	時 間	内 容	講 師(担当)	参加人数
10月22日	日	10時～16時	大森麦わら細工の歴史を学び、編み細工の制作方法を体験した。	大森麦わら細工の会 (小室)	男性 2人 女性 5人 計 7人

◎大森麦わら象嵌細工

月 日	曜日	時 間	内 容	講 師(担当)	参加人数
11月15日	日	10時～16時	大森麦わら細工の歴史を学び、張り細工の上級技法の一端を体験した。	大森麦わら細工の会 (小室)	男性 3人 女性 6人 計 9人

《夏休み体験学習会(子ども対象事業)》

◎ 大森麦わら張り細工

月 日	曜日	時 間	内 容	講 師(担当)	参加人数
8月1日	火	13時～16時	染色した麦わらを切り張りして、参加者自身のオリジナルな作品づくりをする。	藤塚悦司氏 (大森麦わら細工の会) (小室)	男性 8人 女性 17人 計 25人
8月22日	火	13時～16時			男性 7人 女性 8人 計 15人

◎ 麦わらのホタルカゴづくり

月 日	曜日	時 間	内 容	講 師(担当)	参加人数
8月2日	水	13時～16時	麦わらを使ってホタルカゴを作り、昔の郷土の産業や夏の遊びを振りかえる。	藤塚悦司氏 (大森麦わら細工の会) (小室)	男性 9人 女性 14人 計 23人

◎ オリジナル六郷のとんび凧づくり

月 日	曜日	時 間	内 容	講 師(担当)	参加人数
8月16日	水	10時～16時	「六郷とんび凧」の歴史を学び、オリジナルの凧を作る。	六郷とんび凧の会 (乾)	男性 9人 女性 6人 計 15人

◎ 勾玉づくり

月 日	曜日	時 間	内 容	担 当	参加人数
8月17日	木	13時30分～16時	滑石を研磨して、勾玉を作る。	斎藤林	男性 5人 女性 7人 計 12人
8月18日	金	9時30分～12時		斎藤林	男性 7人 女性 7人 計 14人
8月18日	金	13時30分～16時		斎藤林	男性 4人 女性 7人 計 11人

◎ 麦わらのガラガラ鳴るおもちゃづくり

月 日	曜日	時 間	内 容	講 師(担当)	参加人数
8月23日	水	13時～16時	麦わらを使ってガラガラ鳴るおもちゃを作る。	藤塚悦司氏 (大森麦わら細工の会) (小室)	男性 5人 女性 11人 計 16人

《学校団体利用人数》

<小学校>

No.	月日	曜日	時間	学校名	学年	生徒数	引率者数	人数計
1	4月27日	木	9時～11時45分	山王小学校	6年生	139 人	4 人	143 人
2	1月11日	木	9時15分～11時30分	山王小学校	4年生	137 人	4 人	141 人
3	1月30日	火	9時30分～12時30分	梅田小学校	3年生	171 人	6 人	177 人
4	1月31日	水	9時30分～10時30分	梅田小学校	3年生			
5	2月13日	火	13時15分～15時45分	馬込第二小学校	3年生	85 人	4 人	89 人
6	2月27日	火	9時40分～11時10分	南浦小学校	3年生	65 人	5 人	70 人

のべ 4 校 620 人

《中学生職場体験》

No.	日時	曜日	時間	学校名	人数	内容(担当)
1	9月19日～ 9月21日	火～ 木	9時～12時、 13時～15時30分	貝塚中学校2年生	3人 (男子1、 女子2)	19日…ガイダンス(林)、図書整理 (斎藤) 20日…考古資料の整理・布団づく り(林)、特別展ポスター封入作 業(小室) 21日…民俗資料の整理(小室)、 特別展の準備作業(小室)

1校 3人

《館外事業(講座・解説など)》

No.	月日	曜日	時間	事業名	会場	参加人数	出張者	区分
1	4月18日	火	13時35分～15時15分	学級活動「久が原の歴史を知ろう」 (対象:久原小学校6年生)	久原小学校	131人	斎藤林	出張授業
2	5月18日	金	10時～12時	令和5年度博物館実習 (対象:日本大学通信教育部学芸員課程の学生)	郷土博物館	10人	斎藤	見学実習
3	5月23日	火	9時40分～12時15分	総合的な学習の時間「遺跡探検隊」 (対象:久原小学校3年生)	久原小学校	145人	斎藤林	出張授業
4	6月1日	木	8時45分～9時30分	「麦はかせになろう」 (対象:馬込小学校3年生)	馬込小学校	110人	藤塚悦司氏 小室	出張授業
5	6月6日	火	9時～12時10分	総合的な学習の時間 学活「勾玉づくり」 (対象:久原小学校4年生)	久原小学校	157人	斎藤	出張授業
6	6月8日	木	10時～11時30分	多摩川台公園内の古墳見学解説 (対象:西丸子小学校6年生)	多摩川台公園	85人	斎藤林	出張解説
7	6月17日	土	13時30分～16時00分	「大田の園芸史」 (対象:NPO法人大田・花とみどりのまちづくり)	郷土博物館	27人	小室	講演会
8	6月27日	火	13時35分～14時20分	総合的な学習の時間「遺跡探検隊」 (対象:久原小学校3年生)	郷土博物館から久原小学校へ配信	150人	林	オンライン授業
9	7月5日	水	9時30分～12時	地域学習「多摩川台公園の古墳を学ぶ」 (対象:調布大塚小学校6年生)	田園調布せせらぎ館 多摩川台公園	67人	斎藤林	出張授業
10	8月30日	水	13時～14時	「川瀬巴水 馬二小deこども木版画鑑賞会」 (対象:馬込第二小学校3～6年生)	馬込第二小学校	21人	真坂 築地	出張授業
11	9月1日	金	13時～14時30分	税理士法人東京南部会計研修会特別講演 「大田区の成り立ちー大森地区を中心にー」	Luz大森	13人	築地	講演会
12	9月8日	金	8時40分～10時10分	協同授業「大田区学」見学 (対象:大田桜台高校3年生)	郷土博物館	3人	築地 小室	展示解説
13	9月15日	金	8時40分～10時10分	協同授業「大田区学」調べ学習① (対象:大田桜台高校3年生)	郷土博物館	4人	築地 小室	レファレンス対応
14	9月15日	金	11時～12時	清澄庭園ボランティアガイド研修会「川瀬巴水 大田区域での暮らしと作品 岩崎家別邸とともに」	郷土博物館	14人	真坂	講演会
15	10月6日	金	8時40分～10時10分	協同授業「大田区学」調べ学習③、発表資料作成① (対象:大田桜台高校3年生)	郷土博物館	4人	築地 小室	レファレンス対応
16	10月11日	水	10時50分～12時20分	協同授業「大田区学」発表資料作成② (対象:大田桜台高校3年生)	郷土博物館	4人	築地 小室	レファレンス対応
17	10月25日	水	14時～16時30分	大田区環境マイスターの会主催講演会「おたの風物詩ー江戸時代を中心にー」	郷土博物館	11人	築地	講演会 展示解説
18	10月27日	水	10時50分～12時20分	協同授業「大田区学」発表資料作成③ (対象:大田桜台高校3年生)	郷土博物館	4人	築地 小室	レファレンス対応
19	10月28日	土	9時～11時	見学会「多摩川台古墳群を歩く」 (対象:日本の歴史を学び史跡を訪ねる会)	多摩川台公園 古墳展示室	25人	林	遺跡見学会
20	10月29日	日	14時～15時30分	大田文化の森運営協議会主催/地域連携企画事業 郷土博物館 特別展開連講演会「海苔の商いから見る大森と諏訪」	大田文化の森	78人	乾	講演会

No.	月 日	曜日	時間	出張事業名	会場	参加人数	出張者	区分
21	11月4日	土	14時～16時	特別展「海苔商たちの底力」展示解説 (対象:友の会会員)	郷土博物館	12 人	乾	展示解説
22	11月8日	水	10時50分～12時20分	協同授業「大田区学」発表資料作成④、リハーサル (対象:大田桜台高校3年生)	郷土博物館	4 人	築地小室	レファレンス対応
23	11月10日	金	8時40分～10時10分	協同授業「大田区学」発表・質疑応答 (対象:大田桜台高校3年生)	大田桜台高校	10 人	築地小室	助言・指導
24	11月12日	日	14時30分～16時	第2回マリーゴールドまつり 大田区郷土博物館協力講座特別展「海苔商たちの底力」展示解説	カムカム新蒲田	10 人	乾	講演会
25	11月14日	火	10時30分～12時15分	生活単元学習「勾玉づくり」 (対象:矢口東小学校特別支援学級)	矢口東小学校	26 人	斎藤	出張授業
26	11月14日	火	13時40分～14時40分	総合的な学習の時間「大森貝塚についての調べ学習」 (対象:入新井第一小学校3年生)	入新井第一小学校	111 人	林	出張授業
27	11月16日	木	8時45分～12時15分	総合的な学習の時間「きょう土の伝統文化と先人のはたらき」 (対象:大森第一小学校4年生)	大森第一小学校	98 人	藤塚悦司氏小室	出張授業
28	11月26日	日	13時30分～15時	第1回美術講座「川瀬巴水の生涯とその作品～大森と海苔をめぐって～」	大森東図書館	17 人	真坂	講演会
29	1月18日	木	8時45分～11時25分	総合的な学習の時間「どうする大森麦わら細工」 (対象:山王小学校4年生)	山王小学校	141 人	藤塚悦司氏小室	出張授業
30	1月26日	金	9時40分～12時20分	社会科「大田区のうつりかわり」 (対象:高畑小学校3年生)	高畑小学校	151 人	乾小室	出張授業
31	2月2日	金	9時35分～11時25分	社会科「大田区のうつりかわり」 (対象:池上小学校3年生)	池上小学校	107 人	乾小室	出張授業
32	2月4日	日	14時～16時	郷土歴史講座「川瀬巴水と川辺の風景－多摩川を中心に－」	多摩川図書館	22 人	真坂	講演会
33	2月8日	木	14時～16時	大田・品川まちめぐりガイドの会研修会	郷土博物館	14 人	築地	講演会
34	2月11日	日	13時～16時	令和5年度第3回馬込文士村教養講座	馬込図書館	55 人	築地真坂	講演会 展示解説
35	2月15日	木	16時～16時30分	令和6年2月 地域力推進矢口地区委員会ミニレクチャー「森本六爾、おおたの横穴墓を掘る」	矢口特別出張所	27 人	林	講演会
36	2月20日	金	9時35分～12時15分	社会科「大田区のうつりかわり」 (対象:池雪小学校3年生)	池雪小学校	146 人	乾小室	出張授業
37	3月10日	日	10時30分～13時30分	大岡山・千束町づくり協議会「大人の遠足」	郷土博物館～池上梅園	17 人	築地真坂	講演会 展示解説 まち歩き
38	3月20日	水・祝	9時45分～12時	見学会「古墳ってなんだろう」 (対象:おおたの生き物はっけん隊)	せせらぎ公園、多摩川台公園、古墳展示室	34 人	林斎藤	出張解説

《刊行物(グッズを含む)》

刊行物名		発行部数	備考
1	川瀬巴水壁掛カレンダー 2024年	600	
2	川瀬巴水絵葉書(内陸の風景編)	1,000	増刷
3	おおたの四季一筆箋	1,000	
4	特別展「海苔商たちの底力」展示図録	1,200	
5	特別展「海苔商たちの底力」クリアファイル	1,000	
6	特別展「海苔商たちの底力」スティックのり	1,000	
7	特別展「海苔商たちの底力」日本手ぬぐい	1,000	
8	特別展「海苔商たちの底力」付箋紙	1,000	
9	特別展「海苔商たちの底力」焼海苔缶	96	

《收藏資料総数》

	寄贈資料	購入資料	複製資料	出土資料	合計	收藏資料累計
考古	9	1	0	0	10	38,284
歴史	10	34	0	0	44	11,368
民俗	167	1	0	0	168	4,357
その他	0	0	0	0	0	5,298
合計	186	36	0	0	222	59,307

当館の收藏資料総数

59,307 点

令和5年度(令和6年3月31日現在)

大田区立郷土博物館 年報
令和5(2023)年度

発行日 令和6(2024)年4月30日
編集・発行 大田区立郷土博物館
〒143-0025 大田区南馬込五丁目11番13号
TEL 03-3777-1070 FAX 03-3777-1283